



＜災害対策本部は、第一給食センターで高台にあり、津波被害を免れたため、現在は避難所となっています。左の写真は、戸羽市長に救援金（100万円）と母袋市長と南波議長のメッセージを手渡しました。右側の写真は、左からあいさつする戸羽市長、藤倉市議、菅野会長（市民の声）です）

◇戸羽 太陸前高田市長

ただいまは、ありがとうございました。なんとか前を向いて、一步一步ではありますけれど街づくりしていきたいと思っています。

以前の陸前高田市をご存じの方もいるかもしれませんが、今回、昨日現在（4月25日）で1390名の方がお亡くなりになっています。なお、800名以上の方が行方不明ということでございまして、市の職員も68名の仲間が命を落としております。

今回の震災でお亡くなりなられた方々や職員の仲間の思いをしっかりと受け止めて、被災前の陸前高田市よりももっともっと、みなさんから称賛していただけるような街を市民のみなさんと手を携えてつくってまいりたいとそうように思っています。

今は、震災後あまり時間がたっていないので、全国のみなさん、世界のみなさんから応援をいただいておりますが、これが半年たち一年たつとだんだん忘れて去られてしまうのかなーとすごく心配しています。そういう意味では、どうか陸前高田市のことを忘れないで末永く応援をしていただければ幸いかと思っていますので、よろしくをお願いします。

日本共産党の皆様方にはこれまでも一緒に街づくりをさせていただいて、私も選挙のみならず、ずーと一緒に活動してまいりました。これからも藤倉市議も仲間でありまして、今回及川一郎議員が津波で命を落とされました。なんとか頑張ってまいりますので、今後とも引き続き応援をよろしくをお願いします。本当に感謝しております。

07年11月当時の高田松原



11年4月26日、今回の大津波被害後



左側は大船渡市、右側が気仙沼市

